

## 聖隷浜松病院 小児科（選択科）

指導責任者 大呂 陽一郎

研修期間 4週

### 一般目標 (GIO : General Instructive Objective)

小児科および小児科医の役割を理解し、小児医療を適切に行うために必要な基礎知識・技能・態度を習得する。

1. 正常小児の成長・発達に関する知識を習得する
2. 年齢に応じた小児の診療方法を習得する
3. 成長段階により異なる薬用量・補液量の計算法を習得する
4. 救急外来を受診する病児に対する初期対応方法を習得する

### 行動目標 (SBOs : Structural Behavior Objectives)

#### A. 医療面接・指導

1. 小児に不安を与えないように接し、コミュニケーションをとることができる
2. 保護者から診断に必要な情報を的確に聴取することができる
3. 保護者に適切に病状説明をすることができる

#### B. 診察

4. 身体発育・精神発達が年齢相当であるかどうかを判断できる
5. 全身を観察し、正常と異常の所見を区別し、緊急な対処の必要性について判断できる
6. 理学的診察により胸部所見、腹部所見、頭頸部所見、神経学的所見、四肢の所見を的確にとり記載できる
7. 小児疾患の理解に必要な症状と所見を正しくとらえ理解するための基本的知識を習得し、主症状および救急の状態に対応できる能力を身につける

#### C. 臨床検査（小児特有の検査結果を解釈できるようにする）

8. 血算、白血球分画
9. 血液生化学検査（肝機能、腎機能、電解質、代謝など）
10. 血清免疫学的検査（炎症マーカー、ウイルス・細菌の血清学的診断）
11. 画像検査、生理検査

#### D. 基本的手技

12. 指導者のもとで乳幼児を含む小児の採血、皮下注射ができる
13. 指導者のもとで新生児、乳幼児を含む小児の末梢静脈ルート確保ができる

#### E. 薬物療法

14. 基本的な薬剤の使用法を理解し、実際に処方ができる
15. 小児の体重別・体表面積別の薬用量を理解し、それに基づいて一般薬剤の処方ができる
16. 個々の病児に応じた剤型の選択ができる

F. 成長・発達に関する知識習得と経験すべき症候・病態・疾患

17. 成長・発達と小児保健に関わる項目

- (1) 乳幼児期の体重・身長増加と異常の発見
- (2) 神経発達の評価と異常の検出
- (3) 予防接種の種類と実施方法および副反応の知識と対応法の理解

18. 一般症候

- (1) 体重増加不良、哺乳力低下
- (2) 発達の遅れ
- (3) 発熱
- (4) 脱水、浮腫
- (5) 発疹
- (6) 貧血
- (7) 出血傾向
- (8) けいれん、意識障害
- (9) 咳、喘鳴、呼吸困難
- (10) リンパ節腫脹
- (11) 便秘、下痢、血便
- (12) 腹痛、嘔吐

19. 頻度の高い、あるいは重要な疾患

- (1) ウイルス感染症
- (2) アレルギー疾患：気管支喘息、アトピー性皮膚炎、じんましん、アナフィラキシー
- (3) 呼吸器疾患：扁桃炎、クループ、気管支炎、細気管支炎、肺炎
- (4) 消化器疾患：急性胃腸炎、腸重積症、急性虫垂炎
- (5) 腎疾患：尿路感染症、腎炎
- (6) 心疾患：先天性心疾患
- (7) リウマチ性疾患：川崎病、IgA 血管炎
- (8) 皮膚疾患：湿疹
- (9) 神経疾患：熱性けいれん
- (10) 内分泌・代謝疾患：ケトン血性低血糖症、脱水症
- (11) 血液・腫瘍疾患：白血病、貧血、血小板減少
- (12) その他：染色体異常（例：ダウン症候群）

20. 小児の救急医療

- (1) 小児に多い救急疾患の基本的知識と手技を身につける
- (2) 脱水症の程度を判断でき、応急処置ができる
- (3) 喘息発作の重症度を判断でき、中発作以下の応急処置ができる
- (4) けいれん状態の応急処置ができる
- (5) 酸素療法ができる
- (6) 胸骨圧迫、気道確保、人工呼吸、骨髄路／静脈路確保などの蘇生術が行える

方略 (LS : Learning Strategies)

| 方略 No. | SBO | 方法                    | 時期             | 人数  | 場所                | 時間  | 媒体              | 指導協力者 |
|--------|-----|-----------------------|----------------|-----|-------------------|-----|-----------------|-------|
| 1      | A   | 講義、実技                 | 研修開始時<br>研修期間中 | 2~3 | 病棟、外来<br>Dr. room | 2時間 | 患者<br>家族        | 指導医   |
| 2      | B・E | 実技研修<br>カンファレンス<br>講義 | 研修期間中          | 2~3 | 病棟、外来<br>Dr. room | 1時間 | 患者<br>家族<br>P C | 小児科医  |
| 3      | C   | カンファレンス<br>講義         | 研修期間中          | 2~3 | 病棟、外来<br>Dr. room | 1時間 | P C             | 小児科医  |
| 4      | D   | 実技研修                  | 研修期間中          | 2~3 | 病棟、外来             | 1時間 | 患者              | 小児科医  |
| 5      | F   | 実技研修<br>カンファレンス<br>講義 | 研修期間中          | 2~3 | 病棟、外来<br>Dr. room | 2時間 | 患者              | 小児科医  |

評価 (EV : Evaluatiton)

| SBO | 対象領域  | 目的    | 方法             | 測定者     | 時期         |
|-----|-------|-------|----------------|---------|------------|
| A   | 態度、習慣 | 形成的評価 | 他者評価、<br>カルテ監査 | 指導医、多職種 | 1ヶ月後、研修終了時 |
| A・B | 知識    | 形成的評価 | 他者評価<br>カルテ監査  | 指導医、多職種 | 1ヶ月後、研修終了時 |
| B・D | 技能    | 形成的評価 | 直接観察           | 指導医     | 1ヶ月後、研修終了時 |
| C・E | 知識    | 形成的評価 | 他者評価<br>カルテ監査  | 指導医     | 1ヶ月後、研修終了時 |
| E・F | 知識    | 形成的評価 | 他者評価<br>カルテ監査  | 指導医     | 1ヶ月後、研修終了時 |

週間スケジュール

|    | 月                     | 火                     | 水                     | 木                     | 金                     |
|----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 午前 | 申し送り<br>病棟回診          | 申し送り<br>病棟回診          | 抄読会<br>申し送り<br>病棟回診   | 申し送り<br>病棟回診          | 申し送り<br>病棟回診          |
| 午後 | カンファレンス<br>処置<br>申し送り | カンファレンス<br>処置<br>申し送り | カンファレンス<br>処置<br>申し送り | カンファレンス<br>処置<br>申し送り | カンファレンス<br>処置<br>申し送り |